

特集

動物との絆

私たちは、生活の様々な場面で動物と関わりを持っています。家庭で飼育される動物は、ペットではなく伴侶動物、あるいはコンパニオンアニマルと呼ばれることも多くなり、以前よりも私たちとの絆がより意識されるようになりました。テレビでは、動物を題材にした番組が人気で、動物と私たちの心が通いあう瞬間を捉えた映像から、その絆を意識する反面、その絆が人間の勝手な思い込みであることは以前から指摘されています。学校現場でも、人獣共通感染症の懸念や、適切な飼育の重要性が理解されるようになるとともに、それらへの適切な対策の困難さから、動物との関わりを学ぶ機会は限られたものになっているようです。このような人間と動物の関係に注目した研究は、心理学や関連する様々な分野で展開されています。

今回の特集では、動物と私たち人間の「絆」をテーマに、私たちの最も身近にいる伴侶動物との別れ、学校教育における動物の役割、イヌとの関わりから見た人間の営み、メディアによって表現される動物と人との「絆」の実際について紹介していただきます。

(後藤和宏)